

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時 令和元年6月7日(金) 14:00～15:35

場 所 松江市立義務教育学校八束学園

対象者 小学部児童 35名

指導者 教員 2名

埋蔵文化財調査センター職員 2名

1. 主題 古代人(縄文人)の生活を知ろう ～土器作り体験～

2. ねらい

○八束周辺の遺跡の様子を知ることで、古代の人々の生活の様子に興味・関心を持つ。

○土器作りの体験を通して、古代人の生活の様子について知り、古代人の生活への理解を深める。

3. 展開

時間	学習活動	指導者の支援・配慮事項	分担
5分	今日の学習の流れを確認しよう	<ul style="list-style-type: none"> 講師の紹介をする。 学習の内容やねらいを説明する 	教科担当
15分	縄文時代の人々の生活について知ろう <ul style="list-style-type: none"> 縄文時代が今からどれくらい前の時代かを確認する。 どのような食器(土器)を作って、食べ物を食べていたのかを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導者がパワーポイントなどの視覚的教材を使って生徒の興味・関心を高めることができるように配慮する。 	職員
60分	<p>★土器作りに挑戦しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 粘土、粘土板、施文具の準備 各自で土器の形を作り、縄文等の文様を付けていく <p>感想を発表する。(教室)</p>	<p>各自机の上に粘土板を配置、粘土を配布</p> <ul style="list-style-type: none"> 土器の成型方法について説明する。 土器の施文方法について説明する。 土器が完成したら手を洗ってくる。 <p>※粘土を自然乾燥させるために場所を考慮する。</p>	職員 教科担当
10分	片付けをする。		全員 職員 教科担当

4. 準備物

(学校・児童) パソコン、プロジェクター、長机、筆記用具

(埋文センター) 粘土、粘土板、土器等の遺物、学習の資料、アンケート用紙等